

伸ばそう！子どもの学力

三島市教育委員会 令和元年11月発行

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習・生活状況を把握し、今後の教育活動に役立てていくために、実施されています。令和元年度の三島市の調査結果を分析し、三島の子どもたちのよさや今後伸ばしていきたいところをリーフレットにまとめました。

子どもたちの学力を伸ばしていくためには、学校と家庭が連携して子どもたちの学びを支えることが大切です。学校では、調査結果を活用し授業改善に取り組んでいきますので、各家庭でも、このリーフレットを参考にしていきたいと思います。

調査の概要

【調査日】平成31年4月18日（木）

【調査対象】小学校6年生、中学校3年生

【調査内容】○教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

本年度より知識・活用を一体的に問う問題となりました。

○生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

※調査問題につきましては、国立教育政策研究所ホームページ（URL：http://www.nier.go.jp/）から確認することができます。

三島の子どもたちのこんなところがすてき！

- 自分には、よいところがあると思っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 家の人と学校での出来事について話をしている。
- 物事をやり遂げる喜びを知っている。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

- 家で、自分で計画を立てて勉強をすること
- 新聞を読むこと

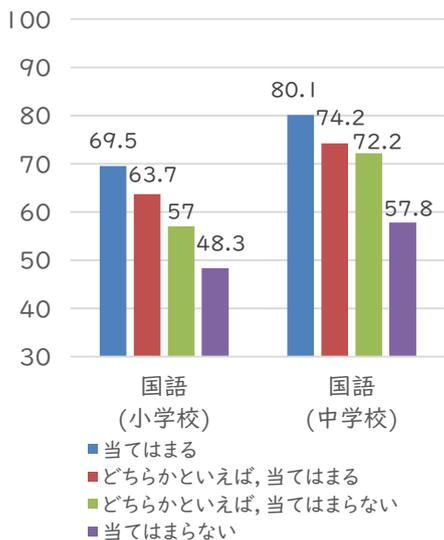
生活・学習習慣と学力の関係は？

次のような子どもたちは、教科の平均正答率が高いことが分かりました。



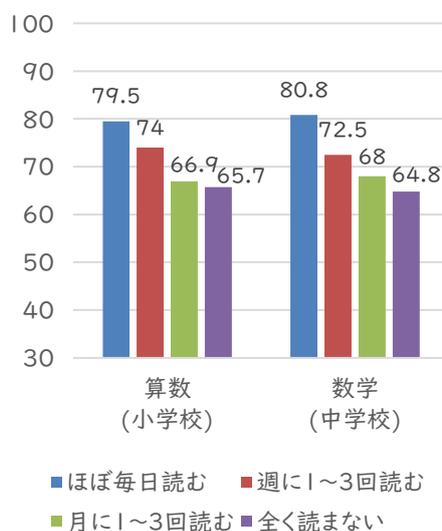
家で学校での出来事について話す子

「家の人（兄弟姉妹を含みません）と学校での出来事について話をしますか。」の回答と正答率（%）



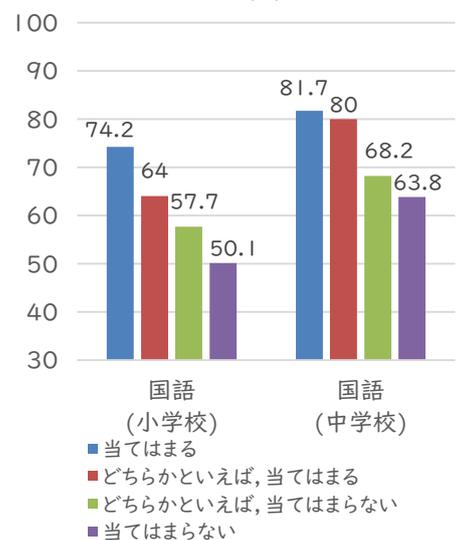
新聞を毎日読んでいる子

「新聞を読んでいますか。」の回答と正答率（%）



自ら課題を見付け調べ表現する子

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思えますか。」の回答と正答率（%）



家庭でできることを見つけて始めてみましょう！

算数・数学

紙面の都合上、調査問題を省略して示しています。

こんなところできています

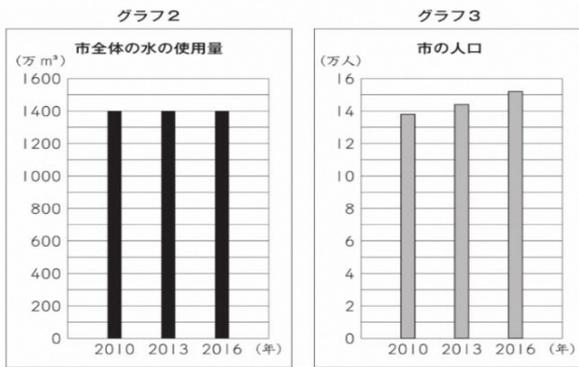
- 【小学校】○棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること ○台形について理解すること
 【中学校】○図形の平行移動について理解すること ○三角形の合同条件について理解すること

三島の子どものための伸ばしたいところ 複数の資料の特徴を関連付け、判断する力

平成31年度調査問題【小学校】2(3)より
 2010年から2016年までの「市全体の水の使用量」(グラフ2)と「市の人口」(グラフ3)について表した2つの棒グラフから、1人あたりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く問題。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。
 下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
 また、その番号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。



グラフ2からわかるように、水の使用量は2010年から変わっていないから、2の「1人あたりの水の使用量は、変わらない」です。

「変わらない」でいいのかな。

グラフ3を見ると、市の人口は増えているよ。1人あたりの水の使用量を求める必要があるね。



グラフ2とグラフ3を見比べて考えたよ。

市全体の水の使用量は2010年から変わっていないけれど、市の人口は増えているね。

1人あたりの水の使用量は、
 (市全体の水の使用量) ÷ (市の人口)
 で求めることができる。この式を使って考えると、「1人あたりの水の使用量は、減っている」ことがわかるよ。だから、答えは「1」になるね。



ポイント!

一つの資料から判断できない事柄については、**複数の資料の特徴**を関連付け、判断することが大切です。

この力は、中学校の数学や他教科の学習にもつながります。



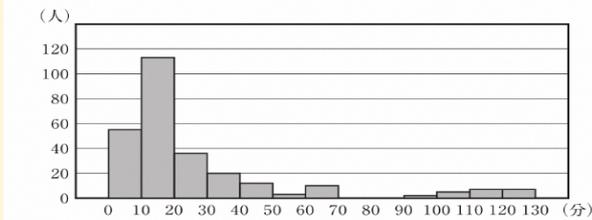
平成31年度全国学力・学習状況調査の調査問題より

【中学校数学】

「1日あたりの読書時間」について、表に示された平均値を見ると、「1日に26分ぐらい読書をしている人が多い」と考えることができます。しかし、ヒストグラムを見るとその考えが適切でないことがわかります。その理由についてヒストグラムの特徴を基に説明する問題が出題されました。

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間 (分)	26.0	120	0

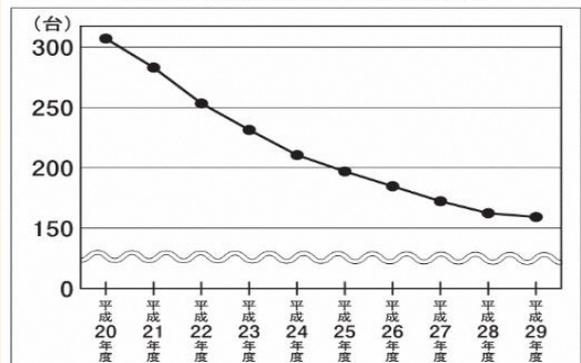
桃子さんが作ったヒストグラム



【小学校国語】

平成20年度から平成29年度にかけて公衆電話設置台数の移り変わりを調べた折れ線グラフを資料にし、「公衆電話が本当に必要でなくなったのかどうか」を報告する文章を書く問題が出題されました。

公衆電話設置台数の移り変わり



学校では

一つの資料からは判断できない事柄について、複数の資料の特徴を関連付け、判断し、説明するような学習を行います。

家庭では

日常生活の中で、興味を持ったことや疑問に思ったことについて調べるときには、本やパンフレットなどの資料を活用しましょう。そのとき、一つの資料だけでなく複数の資料を見比べるようにしましょう。

英語

紙面の都合上、調査問題を省略して示しています。

こんなところができています

- 英語を聞いて、必要な情報を正確に聞き取ること
- 簡単な語句や文で書かれたものから、必要な情報を正確に読み取ること

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

聞く問題

聞いたり、読んだりしたことについて、自分の考えを伝える力

読む問題

4 (放送問題) 来日予定の留学生からの音声メッセージの内容を踏まえて、**あなたのアドバイス**を英語で簡潔に書きなさい。



問題文を読んで、聞く目的を明確にしよう。この問題では、**アドバイスを求められている**から、相手の問いかけに気を付けて聞こう。

【放送で流れた英文】

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some!

Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer.

Thank you.

聞いているときに、疑問詞があったり、語尾が跳ね上がったりしていたら要注意だね。



必要に応じて、メモを取ることも大切だね。

留学生の問いかけ

「日本の学校の部活動に参加してみたいのだが、どの部活動に参加したらよいか、何かアドバイスをしてほしい」

(正答例)

- ・ You can play tennis.
- ・ How about playing volleyball?

(誤答例)

- ・ Enjoy Japanese culture.
- **アドバイスを求められていることを理解できていない。**
- ・ You may go to Tokyo.
- **メッセージの内容を聞き取れていない。**

ポイント!

- ・話し手や、書き手の伝えたい内容や意図などに合わせて、自分の考えを伝えることが大切です。
- ・書くときは、主語や動詞の欠落に注意しましょう。語順やつづりが正しいか見直すことも大切です。
- ・「聞く」「読む」「話す」「書く」という4つの技能は、独立したものと捉えるのではなく、「聞いて書く(話す)」「読んで書く(話す)」等、統合的な技能として身に付けることが大切です。

学校では

- 日常生活での様々な場面を意識した言語活動を繰り返し、基礎的、基本的知識の定着を図ります。
- 聞いたり、読んだりしたことについて、自分の考えを話したり、書いたりする統合的な活動を増やします。

8 文中の問いかけに対する**あなたの考え**を英語で簡潔に書きなさい。

まずは、確実に分かる単語などをヒントに、大まかな内容を理解しよう。

最初の1文に注目してみよう。文全体を理解するためのポイントになる場合があるよ。



【英文】

There are a lot of hungry people in the world.

The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people **waste** more than 6,000,000t of food every year. It means that one person **wastes** two rice balls every day. We **waste** food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*. We have to stop **wasting** food now. What can we do about this problem?

繰り返し使われている単語に注目してみよう。**「waste」(無駄)**が4回出てきているよ。この文のキーワードかもしれないね。



文中の問いかけ

「食糧を無駄にしないようにするために何ができるか」

(正答例)

- ・ We should not buy too much food.
- ・ If I can't eat everything, I can share it with others.

(誤答例)

- ・ I think the world food programme is a very nice project. → **ただ感想を述べているだけである。**

家庭では

- 洋楽や映画、看板、ラジオ、インターネットなど、周りには英語があふれています。自分の興味のあるものに触れて、英語を身近に感じましょう。
- 様々な表現を自分のものにするために、繰り返し使われている単語や本文の内容を意識して、教科書を何度も音読しましょう。